

謹賀新年

北臨技会長 及川 雅寛

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはますますご健勝にて、良き新年を迎えられましたことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年4月より会長に就任し、1年目の責任を果たそうと、技師会を運営しています。この間、会員並びに賛助会員の皆様には多大なるご支援を頂き、感謝申し上げます。

北臨技は昨年創立60周年を迎え、札幌コンベンションセンター特別会議場に於いて記念式典を開催し、無事終了できたことは、会員、関係団体皆様のご協力の賜物と感謝しております。さらに記念式典開催に影で奮闘してくれた役員の皆様にも紙面をかりてお礼申し上げます。今後120周年の「大還暦」を目指し、役員一同頑張っていく所存です。

ところで、日ハムはパリーグ連覇はならず4位という結果でしたが、ドラフトで早稲田の斎藤佑樹投手を獲得し今年は優勝と北海道全体が盛り上がっています。再び道民が喜びを分かち合い、北海道経済が活性化することを祈っております。

さて、昨年は、多くの一般市民の参加があった世界医学検査デー公開講演会に始まり、各講習会及び「マウレ」から精度管理一本へ特化した「コスモスセミナー」を開催しました。コスモスは今後の北海道における精度管理事業の道標となるよう企画を練っていきます。また第85回学会は札幌地区会が担当し690名程の参加者があり、成功裡に終了したことは札幌地区会の頑張りであり、心より感謝いたしております。

また、グランドプラン2005の検証を終え、教育研修部、組織対策部において新たなグランドプラン2010の策定中であります。その一環としての「第2期PJ委員」も決まり今年からの新しいPJ委員の活躍も期待されます。

医療情勢も医師不足の中でチーム医療という言葉が多く使われるこの頃です。我々も臨床検査技師として、何が出来るか、何をしなければならぬかを考えて、職場においても技師会においても行動していかなければいけないと思います。「**耀(かがやく)**」臨床検査技師、北海道臨床衛生検査技師会を目指し、共に今年一年頑張っていきましょう。

◇ 第161回北臨技講習会「感染症検査の方向性」終了報告 ◇

感染免疫部門長 和田 直樹

平成22年11月27日(土)13時30分より北海道大学医学部 臨床講義棟1階第3講堂において、『感染症の方向性』と題し、受講者36名の参加により開催しました。今回はケーススタディとして呼吸器・泌尿器・中枢神経領域の3題を提示し、6グループに分け、各グループでディスカッションし解答していききました。この様な形式は感染免疫部門の講習会で初めての試みでありましたが、各症例に対し、グループ内で活発に意見交換している姿が見られ、大変良かったと思います。また、特別講演として『臨床に直結した抗菌薬投与』と題し、手稲溪仁会病院 総合内科・感染症科の本田仁先生をお招きし、講演していただきました。感染症に携わるものとして、抗菌薬は理解しなければいけない領域であり、今回はタイトルの通り臨床に直結したお話を解りやすく話して頂きました。

来年度も感染免疫部門として講習会を予定しております。会員の皆様に望まれる企画を考えていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

◇ 第162回北臨技講習会「医動物を学ぼう！」終了報告 ◇

形態部門長 田中 浩樹

平成22年12月4日(土)札幌医学技術福祉専門学校講堂において、「医動物を学ぼう」の講習会を開催しました。医動物は、寄生虫をはじめ昆虫・ダニなど幅広く人の健康に直接・間接に関係する動物を対象とします。基調講演では酪農学園大獣医学部の福本真一郎先生に人獣共通寄生虫感染症の最近の話題について、道衛研の八木欣平先生には北海道における寄生虫感染症として、特にエキノコックス症とアニサキス症の歴史から診断法まで詳しくご教授いただきました。検査技師2名による症例提示は、実際の検査法、診断、臨床との対応など実践的な内容でした。寄生虫検査はマイナーな分野で捉えがちで部門の中では一般検査の範疇に入っています。病院によって検査室の担当セクションはまちまちであっても、臨床検査技師には、専門家として一般人や臨床現場に対して、的確な説明ができる橋渡し役を期待されており、セクションに囚われず業務をしていく必要があると思いました。

「エイズ・STI予防啓発活動」報告

日臨技は、国民健康増進委託事業の一つとして、毎年12月1日の世界エイズデーに合わせエイズ・STI予防啓発を推進しております。北臨技はこれに連動し12月4日(土曜日)JR札幌駅南口広場でパンフレットやポケットティッシュ等を配布する啓蒙活動を実施しました。前日の悪天候、また当日も非常に気温が低く不安もありましたが、ちょっと出番の早いサンタクロース(〇常務理事扮装)から、多くの市民がプレゼントを快く受け取られました。このような活動を通じ、より多くの方々にエイズという病気を理解いただき、正しい感染予防対策を知っていただきたいと考えます。(文責:石田)

579名の会員が未登録!!

平成23年度から日臨技の会費納入の方式が変更されるに伴い、北臨技の会費納入についても日臨技会費と一括の口座引落としあるいはコンビニ払いに変更になります。

日臨技の調べで11月末現在、2845名のうち579名の会員の方が未だ登録されていないことが報告されました。23年度も技師会の会員を継続される方は登録書類の提出が必要です。至急、登録の手続きをお願いします。

詳細につきましては、日臨技のホームページあるいは北臨技事務所にお問い合わせ下さい。(文責:田上)

☆ しばれセミナーのご案内 ☆

平成23年2月5日(土) 北大医学部大講堂
「医原病としてのB型肝炎
—安全管理と検査の関わり—」

求人情報 …詳細は北臨技事務所まで…

- 1) 正職員 帯広市 クリニック 腹部エコー経験者
- 2) 嘱託職員 4月~1年間 旭川市 病院 6時間勤務 50歳以下
- 3) パート 週2回9-15時 札幌市 病院 エコー(腹・消・頸・腎)
- 4) 巡回健診専門 道内出張有 年150日程度 心電図他